

出演者 プロフィール



天野裕子 ヴァイオリン

函館市出身。
武蔵野高等学校、武蔵野音楽大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。同大学バルナツス・エミネンス修了。ヴァイオリンをD.オイストラフの流れをくむG.フェイゲン、G.ババフ、室内楽をC.ドルの各氏に師事。スウェーデンや東京での演奏会、テレビ番組に出演。レコーディングに携わる。2000年函館に拠点を移し、函館音楽協会定期演奏会、国際音楽の日フェスティバル、財団出前コンサート、美術館コンサート、武蔵野音楽大学クラシックコンサート、クレーションコンサート、公民館マチネ、FM、らが(ラジオ)等出演。04年、07年に函館市芸術ホールでリサイタルを開催。06年スプリングコンサートに出演。08年モーツァルトヴァイオリン協奏曲第4番で函館市芸術ホール管弦楽団と共演。2004年度函館音楽協会奨励賞受賞。現在、函館市在住。ヴァイオリン教室主宰。ヤマハPMSヴァイオリン科講師。



高橋セリカ ピアノ伴奏

函館市出身。
桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。研究科首席修了。モスクワ音楽院研究科、大学院にてミハイル・ヴォスプレセンスキー氏に師事。
多摩音楽コンクール、宝塚音楽コンクール入選、入賞。第1回かずみアカデミア音楽コンクール第1位、特別賞受賞。ニューフィルハーモニー千葉(指揮:円光寺雅彦氏)チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番共演。第9回ピアノとオーケストラの島の国際コンクール(イタリア)セミファイナリスト。加茂和子、寺西昭子の各氏に師事。



佐藤朋子 ソプラノ

函館市出身。
達愛女子高等学校卒業。第1回函館市青少年芸術教育奨励事業音楽部門最高賞受賞。2007年ベルカントソプラノコンクール第1位。及び観客賞受賞。2005年度函館音楽協会奨励賞受賞。東京芸術大学音楽学部声楽科修了。武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程音楽研究科声楽修了。イタリア・ミラノ音楽院にて研鑽を積む。
現在、武蔵野音楽大学大学院博士後期課程音楽研究科(オペラ)に在学中。日本演奏連盟会員。函館音楽協会会員。函館の文学と音楽の会員。ぐるーぶどるちん会員。北海道二期会会員。
細谷悦子、菊池初美、中村浩子、エレナ・オブラスツォフ、マリア・ミネット、ラウラ・ロンドン、藤司忠良の各氏に師事。



畑中佳子 ピアノ伴奏

函館白百合学園高等学校、武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。
ピアノを本間郁子、萬田真一、布施谷信子、石川哲郎、ソルフェージュを大森清の各氏に師事。
現在、北海道教育大学函館校、北海道教育大学附属特別支援学校非常勤講師。函館音楽協会幹事。日本ショパン協会北海道支部函館地区委員、クレーション会員、公民館マチネ運営委員。函館鍵盤楽器研究会メンバー。函館MB混声合唱団ピアニスト。平成9年度函館音楽協会奨励賞受賞。1999年に女声ヴォーカルグループ Ensemble Morze(アンサンブル・モージェ)を結成し、平成17年度函館音楽協会奨励賞受賞。



石田雅代 ピアノ

千葉県習志野市生まれ。
大阪府豊中市で吉田真美氏にピアノの手ほどきを受ける。
長崎市、神戸市を経て1982年、函館市五稜中学校へ転入。山本朋子氏に師事。東京音楽大学付属高等学校を経て、92年東京音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。在学中、長島圭太、(故)中島和彦、(故)三宅規夫氏に師事。卒業後、東京にて軽音楽企画主催のコンサート等に多数出演。また函館にて、音楽協会主催のコンサート等に多数出演。演奏活動のほか、サクライ楽器ピアノ科講師及び自宅教室にて指導にあたる。96年より函館在住。ソロ演奏のほか、合唱の伴奏ピアニストとして多数の演奏会に出演。また、幼稚園にて子供のためのコンサートを行方等、意欲的に演奏活動を行っている。平成16年度函館音楽協会奨励賞受賞。
現在、ピアノ教室 Nota Angelica主宰。女声合唱団虹彩ピアニスト。函館音楽協会幹事。



デュオ・りら ピアノ・デュオ

共に函館市出身。
母校である上野学園大学の卒業生を中心に結成された「リラの会」に所属しながら、1976年にデュオを結成し、連弾、2台、3台、4台など、様々な形態のピアノアンサンブルの研究や演奏活動を続けてきた。平成5年度函館音楽協会奨励賞を受賞。平成17年5月、函館市芸術ホールにおいてデュオ結成30周年記念リサイタルを開催。旧函館区公会堂コンサートや、さいだん出前コンサート、2006スプリングコンサートに出演。平成18年より毎年7月に、函館市芸術ホールリハーサル室において「クワイアコンサート」を開催。

吉田淳子 Piano I

函館音楽協会幹事長、函館市文化団体協議会舞台委員長、日本ショパン協会北海道支部函館地区副委員長、函館シルバー道声合唱団団長、はこだて女声合唱団代表、カワイ音楽教室講師。

斉藤裕子 Piano II

函館音楽協会幹事、七飯音楽協会会員、おむの木コーラス伴奏者。



池田桂子 フルート

函館市出身。
北海道教育大学函館校音楽科卒業。
1991年から2001年まで北海道教育大学函館校音楽科の非常勤講師を務める傍ら国内外にて演奏活動や教育活動を行う。
2001年よりベルリン州立ユーゼフ・シュミット音楽学校講師 關根雅裕氏の下でフルート演奏法とフルート指導法を、02年より国立ベルリン音楽大学イングリッド・エンゲル教授の下で音楽科教育法を学ぶ。04年ドイツ国家初等音楽教育指導者資格を取得。
現在、日本フルート協会理事、函館フルートオーケストラ団長並びに常任指揮者。
1992年度函館音楽協会奨励賞受賞。
フルートを松原俊久、清水信貴、中山早苗、關根雅裕、指揮法を堤俊輔、音楽科教育法をイングリッド・エンゲルの各氏に師事。



堀江陽子 ピアノ伴奏

札幌大谷高校音楽コース、札幌大谷短期大学音楽科ピアノコースを経て同専攻卒業。
卒業演奏会に出演し、本山賞、学長賞を受賞。卒業後、函館を拠点に演奏活動を開始する。
日本ピアノ教育連盟オーディション奨励賞受賞。札幌新人演奏会、函館市新人音楽会出演。
在学中は声楽の領域にも才を見出され、第2回毎日学生声楽コンクールに出演。本選にて金賞を受賞する。
現在自宅にてピアノ・ソルフェージュ教室を主宰。ピアノを石田真理、声楽を松田由理子の各氏に師事。クレーション会員。



徳永ふさ子 ソプラノ

札幌市に生まれる。
北星学園女子高等学校音楽科および東京芸術大学音楽部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。
ドイツ・デトモルト音楽大学に留学。その後4年間、アグネス・ギーベル(ケルン)のもとで内弟子として薫陶を受ける。アグネス・ギーベル発声メソッドの数少ない継承者である。
声楽を長内勲、鎌倉貞子、須賀靖元、フルムート・クレッチマル、アグネス・ギーベル、永島陽子に、宗教音楽を小林道夫の各氏に師事。
現在は、北海道教育大学函館校非常勤講師、声楽伝習所「ゲザン・グリーベ」主宰、混声合唱団「ハーモニク」副団長、女声合唱団「ベルタ」、女声アンサンブル「ゲザン・グリーベ」各指揮者。函館メソリア教育コンサート実行委員会音楽監督、札幌音楽家協議会会員、函館音楽協会会員(平成2年、奨励賞受賞)、ムシカボエティカ東京スタッフ。平成18年度に函館市文化団体協議会より青鞥章を受章する。



池田みどり ピアノ伴奏

6歳より札幌にて(故)千歳日出樹、(故)福井直俊、福井直敬、熊谷玲子の各氏に師事。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。小川京子氏に師事。スイス・バーゼル市立音楽アカデミー・マイスタークラス卒業。スイス・ブリステン・ディプロムを取得。ルドルフ・フッフピンダー氏に師事。
現在、七飯町にて銀の匙音楽教室を主宰。



市川須磨子 マリンバ

「マリンバははこだて」を主宰し後進の指導に当たると共に、リサイタルシリーズ「マリンバ・エレガンス」の開催をはじめ、門下生を中心に結成した「アンサンブル木精」と共に文化行事や学校公演など、ソロ・アンサンブル両面で幅広く活動している。
1999年から2008年まで、実行委員長として「打楽器の世界」を毎年開催し、函館の打楽器音楽の発展・振興に尽力する。2002年7月及び03年9月、世界的マリンバ奏者安倍圭子氏を迎えてのコンサートを函館市芸術ホールにて開催・共演。07年9月、カナダの世界的打楽器奏者ホフ・ベッカー氏のジャズ・アンサンブルコンサートにアンサンブルメンバーとして参加。函館を始め国内7ヶ所で共演。
1985年函館音楽協会奨励賞受賞(個人)。99年函館市文化団体協議会青鞥章受賞(個人)。2001年函館音楽協会奨励賞受賞(アンサンブル木精)。
現在、日本木琴協会賛助会員及び函館支部長、北海道打楽器協合理事、函館音楽協会会長、函館市文化団体協議会副会長。



久保悦子 ピアノ伴奏

北海道教育大学函館分校卒業。
田倉春子、片桐誠一、布施谷信子の各氏に師事。
現在、カワイ音楽教室講師、日本ショパン協会北海道支部函館地区委員、函館音楽協会幹事。